

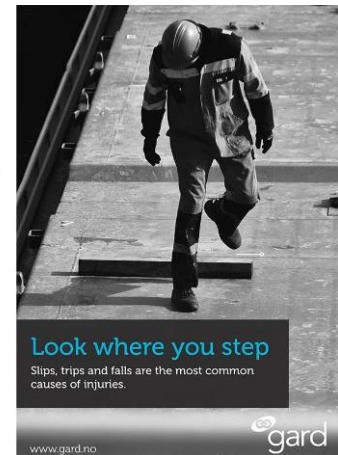
船上での転倒、つまずき、転落の危険にご注意を

こちらは、英文記事「[Keep an eye out for slip, trip and fall hazards onboard](#)」(2020年2月11日付)の和訳です。

転倒、つまずき、転落は、船上での負傷事故の最も多い原因であり、これらの危険に注意を払う習慣を身に着ける必要があります。

WHAT ARE THE MOST COMMON CAUSES OF INJURIES ON SHIPS?

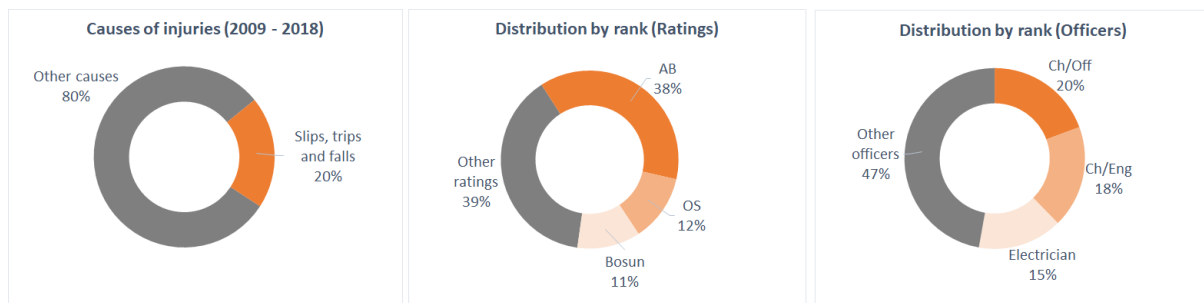
SLIPS, TRIPS AND FALLS



2009年から2018年までの10年間に Gard が扱った船員の負

傷事故のうち、いわゆる STF「転倒 (Slip)、つまずき (Trip)、転落 (Fall)」は、20%を占めています。EMSA (欧州海上保安機関) も [Annual Overview of Marine Casualties 2019 \(2019年の海難事故年次報告書\)](#) で STF を負傷事故の最も多い原因であると指摘しています。

STF による負傷はすべてのランクで起きているのでしょうか? 答えはイエスです。ただし、一部のランクは他のランクよりも負傷率が高くなっています。一般船員は、高級船員と比べ、STF 関連の原因で負傷する可能性が 60% 高いことが分かっています。一般船員の場合、すべての STF 関連の負傷のうち、約 40% を熟練船員 (AB) の負傷が占めます。一方、高級船員の場合、すべての STF 関連の負傷のうち、約 40% を一等航海士と機関長の負傷が占めます。STF は、比較的軽度の捻挫から重度の背部損傷・骨折、場合によっては死亡にまで至る、様々な負傷を引き起こす可能性があります。



STF の予防

[Code of Safe Working Practices \[COSWP\] \(商船船員の安全な労働慣行の規範\)](#) では、STF に起因する負傷のリスクを減らすために、次のような対策を推奨しています。

- 適切な履物を着用する
- こぼれた物はすべて清掃する
- 障害物はすべて除去する
- 床に滑り止めを施す
- 階段昇降時は手すりにつかまる
- しっかり固定されていない物の上に立たない
- 安全標識を使うなどして危険箇所が見て分かる職場にする

さらに、柵のない開口部や緩んだケーブル類、甲板にこぼれた油といった STF の危険源に常に注意するよう習慣づけることで怪我の発生リスクを大幅に減らすことができます。このような常識を働かせたアプローチをぜひ習慣に取り入れてください。

STF の危険の管理

ILO（国際労働機関）と HSE（英国安全衛生庁）は、転倒、つまずき、転落がもたらす危険を管理するためのオンラインコースを開発しました。船上環境での危険を特に取り上げているものではありませんが、STF のリスクの多くはいずれの業界にも共通しています。同オンラインコースは[こちら](#)からアクセスできます。

追加情報

Gard 損失防止ポスター: [Look where you step](#)（足元に注意）

Gard Insight: [開いたマンホールと、取り外されたデッキグレーチングに要注意](#)

[EMSA's Annual Overview of Marine Casualties and Incidents 2019 \(欧州海上保安機関の2019年海難事故年次報告書\)](#)

ILO の労働安全トピック: [Slips and trips \(転倒とつまずき\)](#)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されており、翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。